

日立金属株式会社

2021年度第2四半期決算 説明会資料

[目次]

1. 2021年度第2四半期概要
2. 2021年度第2四半期セグメント別業績
3. 財政状態
4. 連結キャッシュフロー
5. 品質保証問題の継続調査結果について
6. トピックス

2021年10月26日

1-1. 2021年度第2四半期累計概況(1)

市場状況

- ・米国や中国を中心に景気の回復が継続
- ・半導体不足や国際物流の混乱が継続
- ・東南アジア各国においてCOVID-19拡大によるロックダウンを実施
- ・需要回復により原材料価格が上昇
- ・市場分野別

[自動車] 半導体不足や東南アジア各国ロックダウンによる生産調整があり
1Q(4-6月)と比較して2Q(7-9月)の生産台数は減少。
2Q累計期間では前年度対比で増加。

[航空機] COVID-19影響により、航空機材の需要低調が継続。

[FA・ロボット] 国内、海外共に需要回復が継続。特に中国、インド、アジア
市場の自動車関連や5Gスマホ向けの設備投資等が牽引。

[半導体・スマホ] 半導体は自動車関連向けのみならず、スマホ、サーバー
機器等の情報通信向けの需要が引き続き堅調。

[医療] 前年度はCOVID-19の感染検査、治療等が優先される状況が続いたが、現在は徐々に解消。

1-2. 2021年度第2四半期累計概況(2)

当社状況

- 需要の回復により、前年同期比増収増益
- 事業分野別状況

[自動車] 工具鋼は需要回復。市中在庫も適正水準を下回った状態続く。産機材、自動車鋳物、磁性材料、自動車用電装部品が増加。半導体不足は自動車用鋳物、磁性材料、自動車電装部品等に影響有り。2Qに東南アジア各国ロックダウンによる影響加わる。

[航空機] 航空機材の需要低調により、航空機関連材料の低調継続。

[FA・ロボット] 自動車やスマホ等の製造に関わる設備投資需要が増加。

[半導体・スマホ] 情報通信機器用途の増加や自動車販売台数の増加に伴い需要が増加。

[医療] カテーテル用チューブの需要が回復、CT用シンチレータは好調。

業績予想

売上収益 : 原材料価格上昇（価格スライド制）、為替の影響等により8,500億円から9,200億円に増加。

利益* : 見通しは期初の公表値を据え置く。
今後の自動車生産台数やCOVID-19の状況、各種部材不足が与えるサプライチェーンへの影響等、不確定要素を注視する。

* : 調整後営業利益、税引前利益、親会社株主に帰属する利益

1-3. 業績

金額単位：億円 (斜体文字は利益率)	2020年度				2021年度				2Q累計 前年同期比 (C/A-1)×100[%] またはC-A	通期 前年度比 (D/B-1)×100[%] またはD-B
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	通期(B)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(C)	通期予想(D)		
	1\$=108円 1€=118円 1元=15.2円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.4円	1\$=107円 1€=121円 1元=15.3円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.7円	1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=131円 1元=17.0円	3Q-4Q為替前提 1\$=105円 1€=125円 1元=16.0円		
売上収益	1,548	1,860	3,408	7,616	2,269	2,295	4,564	9,200	+34%	+21%
調整後営業利益*	<i>△4.7%</i> <i>△73</i>	<i>△2.7%</i> <i>△51</i>	<i>△3.6%</i> <i>△124</i>	<i>△0.7%</i> <i>△50</i>	<i>3.7%</i> <i>85</i>	<i>3.0%</i> <i>68</i>	<i>3.4%</i> <i>153</i>	<i>3.7%</i> <i>340</i>	+277	+390
IFRS営業利益	<i>△4.1%</i> <i>△64</i>	<i>△17.3%</i> <i>△322</i>	<i>△11.3%</i> <i>△386</i>	<i>△6.5%</i> <i>△492</i>	<i>1.9%</i> <i>42</i>	<i>4.6%</i> <i>106</i>	<i>3.2%</i> <i>148</i>	—	+534	—
税引前当期利益	<i>△71</i>	<i>△324</i>	<i>△395</i>	<i>△506</i>	<i>43</i>	<i>110</i>	<i>153</i>	<i>170</i>	+548	+676
親会社株主に 帰属する当期利益	<i>△33</i>	<i>△299</i>	<i>△332</i>	<i>△423</i>	<i>30</i>	<i>83</i>	<i>113</i>	<i>120</i>	+445	+543

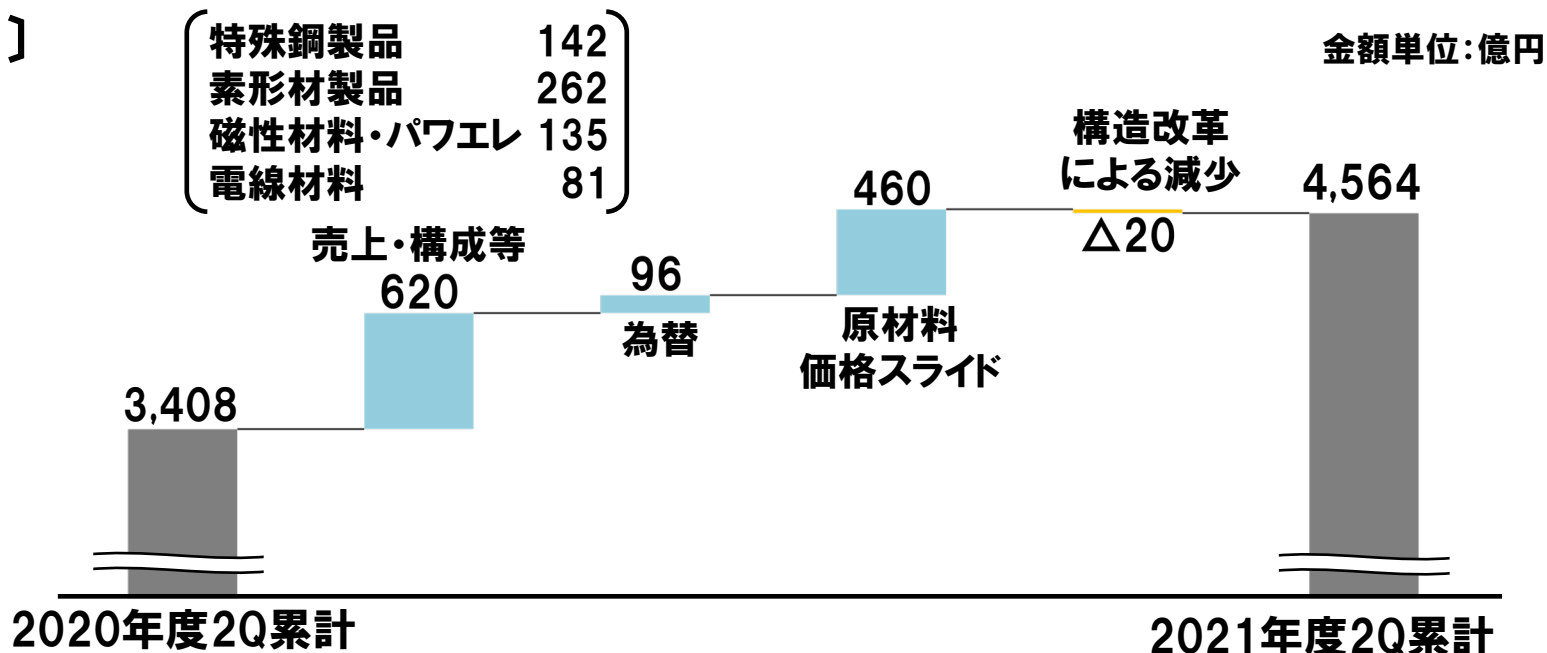
*:調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

地域別売上

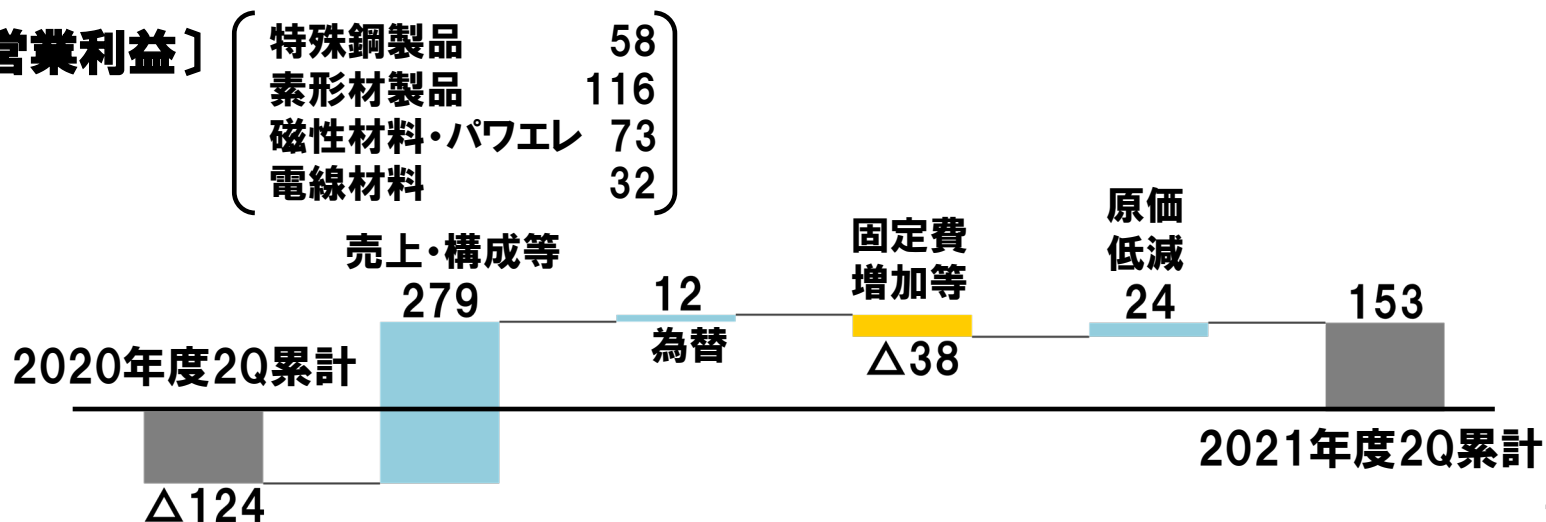
金額単位：億円		日本	北米	中国	その他アジア	欧州	その他
2020年度	売上収益	1,597	873	340	383	158	57
2Q累計	売上比率	47%	26%	10%	11%	5%	1%
2021年度	売上収益	1,965	1,316	412	569	211	91
2Q累計	売上比率	43%	29%	9%	12%	5%	2%
売上収益 前年同期比		+23%	+51%	+21%	+49%	+34%	+60%

1-4. 売上収益・調整後営業利益の増減要因(前年同期比)

〔売上収益〕



〔調整後営業利益〕

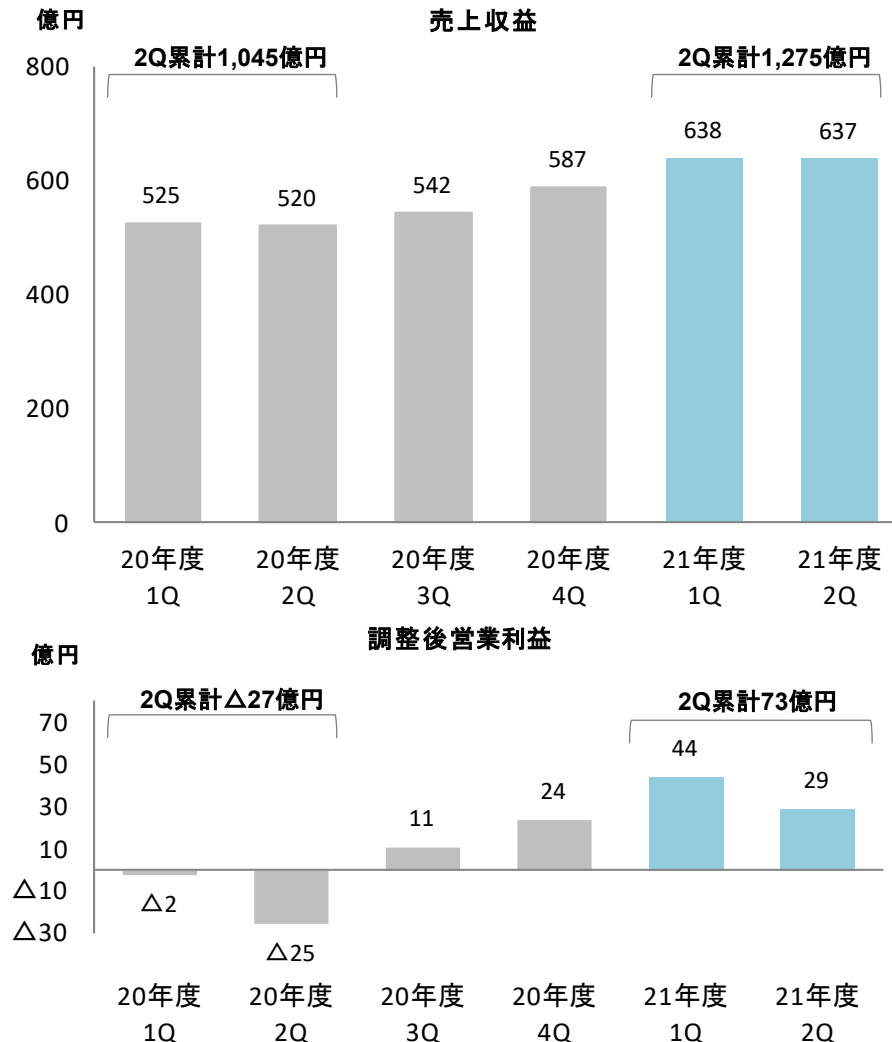


2-1. セグメント別業績

	2020年度				2021年度				2Q累計 前年同期比 (C/A-1)×100[%] またはC-A	通期 前年度比 (D/B-1)×100[%] またはD-B									
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	通期(B)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(C)	通期予想(D)											
	金額単位:億円 (斜体文字は利益率)	1\$=108円 1€=118円 1元=15.2円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.4円	1\$=107円 1€=121円 1元=15.3円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.7円	1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=131円 1元=17.0円			3Q-4Q為替前提 1\$=105円 1€=125円 1元=16.0円								
特殊鋼製品	売上収益	525	520	1,045	2,174	638	637	1,275	2,600	+22%	+20%								
	調整後営業利益	Δ0.4%	Δ2	Δ4.8%	Δ25	Δ2.6%	Δ27	0.4%	8	6.9%	44	4.6%	29	5.7%	73	6.7%	175	+100	+167
	IFRS営業利益	2.9%	15	Δ19.4%	Δ101	Δ8.2%	Δ86	Δ5.5%	Δ120	7.2%	46	4.1%	26	5.6%	72	—	—	+158	—
金属材料	売上収益	402	636	1,038	2,479	761	769	1,530	3,000	+47%	+21%								
	調整後営業利益	Δ17.4%	Δ70	Δ4.9%	Δ31	Δ9.7%	Δ101	Δ5.2%	Δ128	Δ0.1%	Δ1	Δ2.9%	Δ22	Δ1.5%	Δ23	Δ0.3%	Δ10	+78	+118
	IFRS営業利益	Δ18.2%	Δ73	Δ6.4%	Δ41	Δ3.0%	Δ114	Δ7.7%	Δ191	Δ1.4%	Δ11	Δ2.5%	Δ19	Δ2.0%	Δ30	—	—	+84	—
小計*	売上収益	927	1,156	2,083	4,653	1,399	1,406	2,805	5,600	+35%	+20%								
	調整後営業利益	Δ7.8%	Δ72	Δ4.8%	Δ56	Δ6.1%	Δ128	Δ2.6%	Δ120	3.1%	43	0.5%	7	1.8%	50	2.9%	165	+178	+285
	IFRS営業利益	Δ6.3%	Δ58	Δ12.3%	Δ142	Δ9.6%	Δ200	Δ6.7%	Δ311	2.5%	35	0.5%	7	1.5%	42	—	—	+242	—
磁性材料・ パワー エレクトロニクス	売上収益	221	257	478	1,061	318	341	659	1,340	+38%	+26%								
	調整後営業利益	Δ2.3%	Δ5	0.4%	1	Δ0.8%	Δ4	2.4%	25	7.5%	24	12.6%	43	10.2%	67	8.2%	110	+71	+85
	IFRS営業利益	Δ2.3%	Δ5	Δ60.7%	Δ156	Δ33.7%	Δ161	Δ13.3%	Δ141	7.9%	25	13.2%	45	10.6%	70	—	—	+231	—
機能部材	売上収益	399	443	842	1,892	550	547	1,097	2,260	+30%	+19%								
	調整後営業利益	Δ1.3%	Δ5	0.5%	2	Δ0.4%	Δ3	2.4%	46	2.9%	16	1.8%	10	2.4%	26	3.1%	70	+29	+24
	IFRS営業利益	Δ0.8%	Δ3	Δ3.8%	Δ17	Δ2.4%	Δ20	1.0%	18	0.7%	4	1.5%	8	1.1%	12	—	—	+32	—
小計*	売上収益	620	700	1,320	2,953	868	888	1,756	3,600	+33%	+22%								
	調整後営業利益	Δ1.6%	Δ10	0.4%	3	Δ0.5%	Δ7	2.4%	71	4.6%	40	6.0%	53	5.3%	93	5.0%	180	+100	+109
	IFRS営業利益	Δ1.3%	Δ8	Δ24.7%	Δ173	Δ13.7%	Δ181	Δ4.2%	Δ123	3.3%	29	6.0%	53	4.7%	82	—	—	+263	—
その他・調整額	売上収益	1	4	5	10	2	1	3	0	Δ40%	—								
	調整後営業利益	9	2	11	Δ1	2	8	10	Δ5	Δ1	Δ4								
	IFRS営業利益	2	Δ7	Δ5	Δ58	Δ22	46	24	—	—	—	+29	—						
合計	売上収益	1,548	1,860	3,408	7,616	2,269	2,295	4,564	9,200	+34%	+21%								
	調整後営業利益	Δ4.7%	Δ73	Δ2.7%	Δ51	Δ3.6%	Δ124	Δ0.7%	Δ50	3.7%	85	3.0%	68	3.4%	153	3.7%	340	+277	+390
	IFRS営業利益	Δ4.1%	Δ64	Δ17.3%	Δ322	Δ11.3%	Δ386	Δ6.5%	Δ492	1.9%	42	4.6%	106	3.2%	148	—	—	+534	—

*:セグメント間相殺前の単純合計値

2-2. セグメント別業績:特殊鋼製品(1)



【売上収益】

(前年同期比)

・工具鋼

国内、海外向けともに需要が増加。

・産機材

自動車関連製品の需要が増加。

・航空機・エネルギー関連材料

航空機関連材料がCOVID-19感染拡大に伴う移動制限等の影響により低水準な需要が継続し、減少。

・電子材

有機ELパネル関連部材が伸長。

半導体パッケージ材料の需要が高水準。

スマートフォンや電池向けのクラッド材も堅調。

・ロール

射出成形機用部品は好調だが、各種ロール、鉄骨構造部品が若干減少し、前年同期並み。

【調整後営業利益】

主力製品の需要増加により増益。

【1Q(4-6月)と2Q(7-9月)の比較】

売上収益は、2Qに原材料価格上昇(価格スライド制)が押し上げ要因となった。調整後営業利益は、稼働日数の影響により2Qは減少した。

2-3. セグメント別業績:特殊鋼製品(2)

金額単位:億円	2020年度			2021年度			増減 (B/A-1)×100[%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	525	520	1,045	638	637	1,275	+22%
特殊鋼 ^{*1}	470	466	936	584	583	1,167	+25%
ロール ^{*1}	55	54	109	54	53	107	△2%
調整後営業利益	△ 2	△ 25	△ 27	44	29	73	+100
調整後営業利益率	△0.4%	△4.8%	△2.6%	6.9%	4.6%	5.7%	+8.3pt
IFRS営業利益	15	△ 101	△ 86	46	26	72	+158

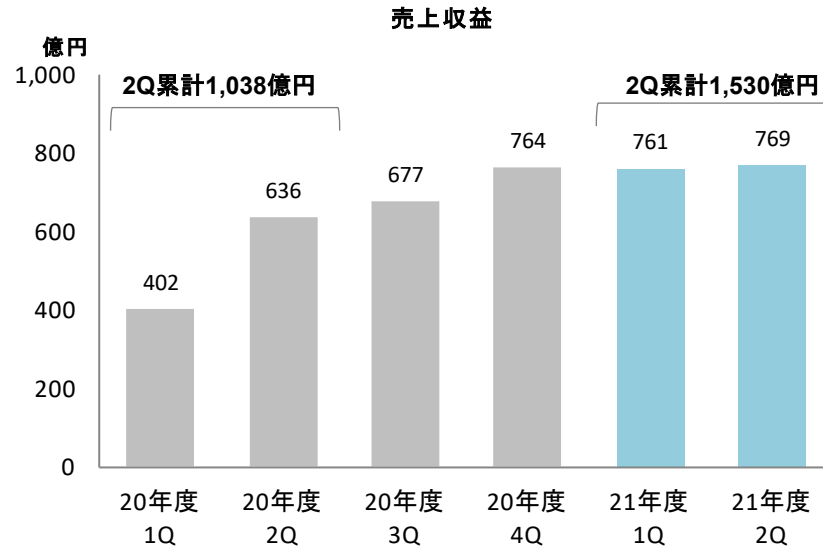
製品別増減(前年同期比)	2020年度			2021年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
工具鋼 ^{*2}	△30%	△32%	△31%	+25%	+32%	+28%
産機材 ^{*2}	△27%	△23%	△25%	+34%	+27%	+30%
航空機・エネルギー ^{*2}	△34%	△37%	△35%	△20%	△9%	△15%
電子材 ^{*2}	0%	△2%	△1%	+27%	+27%	+27%
ロール ^{*3}	△10%	△12%	△11%	△2%	△1%	△2%

*1:セグメント間相殺前の単純合計値

*2:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

*3:セグメント間相殺前の単純合計値の増減比を表示

2-4. セグメント別業績:素形材製品(1)



【売上収益】

(前年同期比)

・自動車用鋳物

鋳鉄製品:

完成車メーカーの生産調整の影響があったが、自動車販売台数が大きく落ち込んだ前年同期との比較で増加。

北米市場において商用車や建設機械・農業機械向け需要が増加。

原材料価格上昇(価格スライド制)影響加わる。

耐熱鋳造部品:

需要が回復。

・配管機器

継手類:

国内、米国ともに住宅着工戸数の回復等により増加。

半導体製造装置用機器:

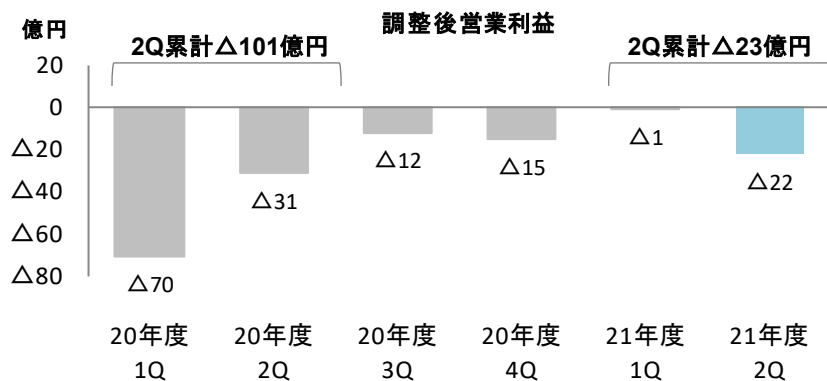
設備投資需要の回復等により増加。

【調整後営業利益】

自動車販売台数の回復により改善した。

【1Q(4-6月)と2Q(7-9月)の比較】

売上収益は、2Qに原材料価格上昇(価格スライド制)が押し上げ要因となった。調整後営業利益は、主に北米での人手不足に起因する生産性の問題、輸送費の高騰等があり、2Qは減益となった。



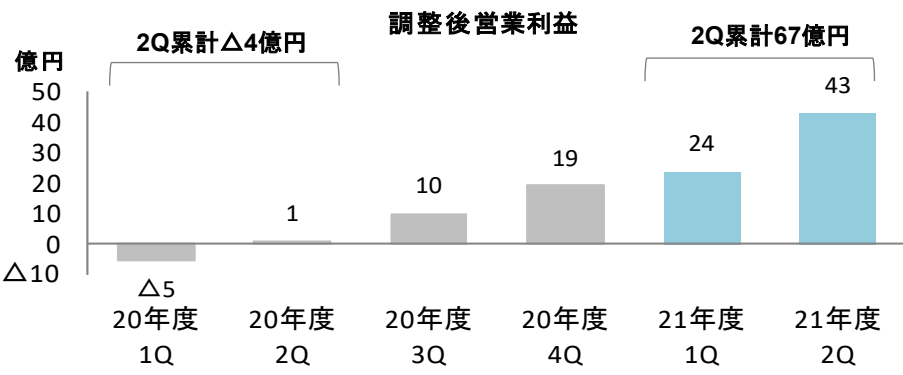
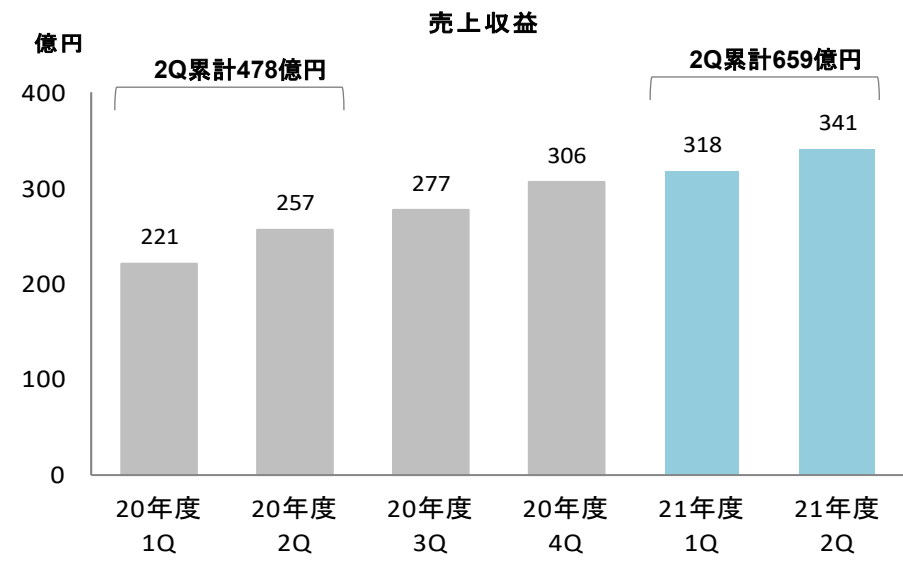
2-5. セグメント別業績：素形材製品(2)

金額単位:億円	2020年度			2021年度			増減 (B/A-1)×100[%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	402	636	1,038	761	769	1,530	+47%
自動車鋳物*	304	535	839	649	645	1,294	+54%
Waupaca社*	222	398	620	484	490	974	+57%
配管機器*	98	101	199	113	123	236	+19%
調整後営業利益	△70	△31	△101	△1	△22	△23	+78
調整後営業利益率	△17.4%	△4.9%	△9.7%	△0.1%	△2.9%	△1.5%	+8.2pt
IFRS営業利益	△73	△41	△114	△11	△19	△30	+84

*:セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	2020年度			2021年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
鑄鉄製品 [Waupaca社] (重量)	△55%	△10%	△34%	+88%	△2%	+30%
鑄鉄製品 [その他] (重量)	△57%	△20%	△39%	+102%	+5%	+41%
耐熱鑄造部品 ハーキュナイト® (重量)	△29%	△9%	△18%	+84%	+13%	+41%

2-6. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(1)



【売上収益】

・磁性材料

(前年同期比)

希土類磁石：

完成車メーカーの生産調整の影響があったが、自動車販売台数が大きく落ち込んだ前年同期との比較で増加。

FA・ロボットやエレクトロニクス関連の需要も好調。

フェライト磁石：

完成車メーカーの生産調整の影響があったが、自動車販売台数が大きく落ち込んだ前年同期との比較で増加。

・パワーエレクトロニクス

軟磁性材料およびその応用品：

スマートフォンやタブレット端末、サーバー機器等の情報通信向けが好調。

アモルファス金属材料もアジア向けを中心に増加。

セラミックス製品：

自動車向けが伸長。

サーバー機器向け需要が増加。

医療機器向けの需要は引き続き好調。

【調整後営業利益】

需要増、減価償却費減により増益。

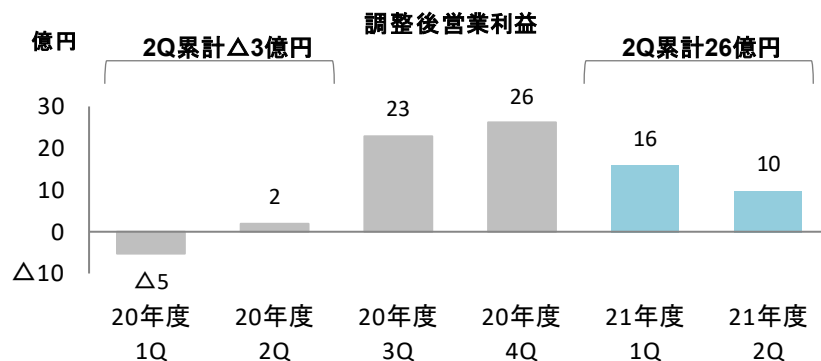
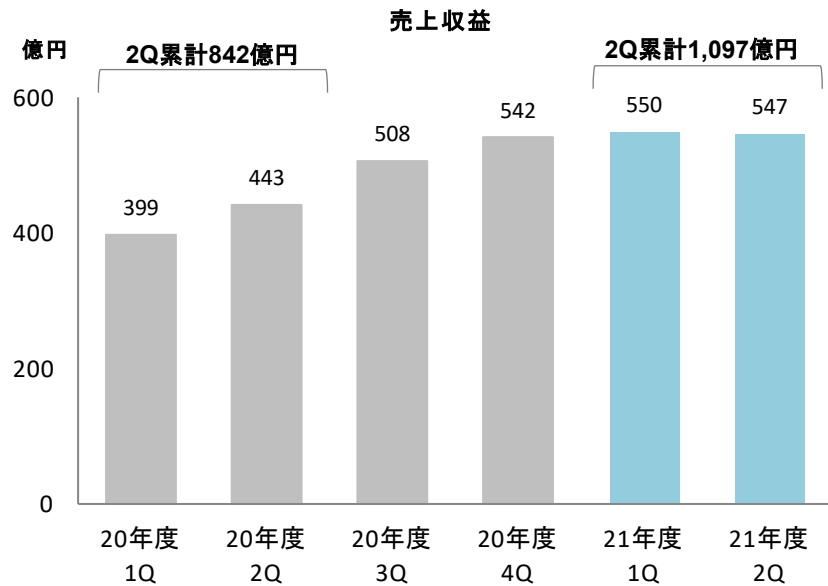
2-7. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(2)

金額単位:億円	2020年度			2021年度			増減 (B/A-1)×100 [%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	221	257	478	318	341	659	+38%
磁性材料*	136	170	306	218	235	453	+48%
パワーエレクトロニクス*	85	87	172	100	106	206	+20%
調整後営業利益	△ 5	1	△ 4	24	43	67	+71
調整後営業利益率	△2.3%	0.4%	△0.8%	7.5%	12.6%	10.2%	+11.0pt
IFRS営業利益	△ 5	△ 156	△ 161	25	45	70	+231

*:セグメント間相殺前の単純合計値

製品別増減(前年同期比)	2020年度			2021年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
希土類磁石(重量)	△36%	△21%	△28%	+47%	+11%	+27%
フェライト磁石(重量)	△39%	△21%	△30%	+67%	+15%	+38%

2-8. セグメント別業績:電線材料(1)



【売上収益】

(前年同期比)

自動車用電装部品、巻線を中心とした需要回復と原材料価格上昇(価格スライド制)の影響等があり増収。

・電線

鉄道車両用電線:

中国向けが需要減少。

医療:

カテーテル用チューブの需要が回復したが、ケーブルが減少し、前年同期並み。

巻線:

自動車や産業機器向けを中心に需要が回復。

機器用電線:

FA・ロボット向けが伸長。

・自動車部品

完成車メーカーの生産調整を受け、2Qに入り回復の動きが鈍化したものの、自動車販売台数が大きく落ち込んだ前年同期との比較では需要増加。

【調整後営業利益】

電線、自動車部品とも需要が増加したことにより増益。

【1Q(4-6月)と2Q(7-9月)の比較】

2Qは中国向け鉄道車両用電線の減少や完成車メーカーの生産調整の影響拡大により、調整後営業利益が減少。

2-9. セグメント別業績:電線材料(2)

金額単位:億円	2020年度			2021年度			増減 (B/A-1)×100 [%] またはB-A
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(A)	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計(B)	
売上収益	399	443	842	550	547	1,097	+30%
調整後営業利益	△5	2	△3	16	10	26	+29
調整後営業利益率	△1.3%	0.5%	△0.4%	2.9%	1.8%	2.4%	+2.8pt
IFRS営業利益	△3	△17	△20	4	8	12	+32

製品別増減(前年同期比)	2020年度			2021年度		
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	2Q累計
鉄道*	△15%	+10%	△3%	△2%	△18%	△11%
医療*	+14%	△11%	+1%	△7%	+12%	+2%
FA・ロボット*	+7%	+3%	+5%	+48%	+56%	+52%
巻線*	△27%	△19%	△23%	+72%	+62%	+67%
電装部品*	△49%	△13%	△32%	+79%	+4%	+32%

*:簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

成長分野売上割合 2020年度2Q累計 42%
2021年度2Q累計 43%

3. 財政状態

金額単位:億円	2020年度末	2021年度2Q末	増減
	1\$=111円 1€=130円 1元=16.8円	1\$=112円 1€=130円 1元=17.3円	
資産合計	9,722	10,075	+353
売上債権	1,676	1,867	+191
棚卸資産	1,701	2,057	+356
固定資産	4,449	4,331	△118
負債合計	4,801	5,035	+234
有利子負債	1,953	2,024	+71
親会社株主持分	4,897	5,016	+119
非支配持分	24	24	0
親会社株主持分比率	50.4%	49.8%	△0.6pt
D/Eレシオ(倍)	0.40	0.40	0.00
NET有利子負債*	960	1,078	+118

*:NET有利子負債=有利子負債 - 現金及び現金同等物

棚卸資産：投入の適正化は継続したが、需要回復及び原材料価格上昇影響等により増加
固定資産：投資の厳選により償却額が完成額を上回ったことにより減少

4. 連結キャッシュ・フロー

金額単位:億円	2020年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	前年同期比
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	△ 29	△ 91	△62
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	95	△ 22	△117
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	66	△ 113	△179
コア・フリー・キャッシュ・フロー*	△ 196	△ 223	△27

*: コア・フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動に関するキャッシュ・フロー - 資本的支出

営業CF : 主に、運転資金の増加により、前年同期比△62億円。

投資CF : 前年同期比で、投資の厳選により+34億円、固定資産売却収入により+84億円改善する一方、20年度2Q累計は持分法適用会社売却等による収入254億円があったこと等により、前年同期比△117億円。

FCF : 営業CFおよび投資CFいずれも減少し、前年同期比△179億円。

5-1. 品質保証問題の継続調査結果について(1)

1. 継続調査の結果について

特別調査委員会による調査結果等を踏まえた調査報告書の公表(2021年1月28日)時点において、調査遅延のあった一部拠点(安来工場、桶川工場等)について継続調査を実施してきた。

航空機・エネルギー分野の特殊鋼製品等において、1980年代以降、以下の不適切行為等が確認された。

- ・検査結果の書き換え
- ・異なる方法や手順による検査の実施
- ・顧客承認のない製造条件や検査条件の変更

2. お客様への対応状況等

**問題のあった対象製品におけるお客様数は1,952社。(1月28日時点:1,747社)
当社グループのお客様数の10.5%に相当。**

このうち、73.8%のお客様の性能確認が完了し(1月28日時点:57.4%)、お客様対応は着実に進められている。

問題のあった製品について、お客様立会いの下での性能確認、製品サンプルの再試験などにより、性能確認・検証等を進めており、現時点において性能上の不具合及び安全上の問題は確認されていない。

3. 再発防止策の実施

再発防止策は着実に推進中。今回の継続調査も踏まえ、再発防止策として情報共有や教育機会等のさらなる充実を図る。

- (1)品質重視に向けた意識改革と行動の変革
- (2)品質保証体制の抜本的な改善と基盤強化
- (3)品質管理プロセスの改善
- (4)品質コンプライアンスに関するモニタリングの強化
- (5)継続調査に基づく再発防止策

品質コンプライアンス委員会の運用と実績

外部専門家2名及び当社最高品質責任者からなり、再発防止策の実施及び効果の検証等を実施してきた(これまでに17回の開催実績)。

引き続き再発防止策を継続し、品質保証体制を維持・補強していく。

気候変動問題に対する取り組み

CO₂排出量目標を設定

CO₂排出量*¹目標

中期目標:2030年度38%削減(2015年度*²対比)

長期目標:2050年度実質排出量ゼロ(カーボンニュートラル)をめざす

*1:Scope1(自社によるCO₂の直接排出)とScope2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)の絶対量合計値

*2:2015年度CO₂排出量 2,779千t-CO₂/年

- ・長期的な事業戦略と両立するCO₂排出量削減の具体的な計画を策定中。
- ・2022年度のTCFDフレームワークに準拠した情報開示実施に向けて、移行リスク・物理的リスクが事業および財務に与える影響について、シナリオ分析および対応施策の検証等を推進。

ベインキャピタルが軸となる企業コンソーシアムによるTOB

11月下旬までにはTOBが開始される見込み。

金額単位: 億円	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2020年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度
	通期	通期	通期	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	2Q累計	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	通期	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	2Q累計	2021年度 3Q-4Q為替前提
	1\$=111円 1€=130円 1元=16.8円	1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	1\$=108円 1€=118円 1元=15.2円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.4円	1\$=107円 1€=121円 1元=15.3円	1\$=105円 1€=125円 1元=15.8円	1\$=106円 1€=128円 1元=16.4円	1\$=106円 1€=124円 1元=15.7円	1\$=109円 1€=132円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=130円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=131円 1元=17.0円	1\$=110円 1€=131円 1元=17.0円
売上収益	9,883	10,234	8,814	1,548	1,860	3,408	2,006	2,202	7,616	2,269	2,295	4,564	9,200
調整後営業利益*1	651	514	144	△73	△51	△124	38	36	△50	85	68	153	340
調整後営業利益率	6.6%	5.0%	1.6%	△4.7%	△2.7%	△3.6%	1.9%	1.6%	△0.7%	3.7%	3.0%	3.4%	3.7%
その他の収益	54	107	86	31	12	43	13	41	97	11	75	86	—
その他の費用	△242	△197	△621	△22	△283	△305	△45	△190	△540	△54	△37	△91	—
IFRS営業利益	463	424	△391	△64	△322	△386	7	△113	△492	42	106	148	—
EBIT	489	453	△384	△67	△321	△388	5	△109	△492	46	114	160	185
EBITDA	950	962	168	66	△189	△123	124	11	12	162	230	392	645
税引前当期(四半期)利益	470	430	△406	△71	△324	△395	1	△112	△506	43	110	153	170
親会社株主に帰属する 当期(四半期)利益	422	314	△376	△33	△299	△332	△5	△86	△423	30	83	113	120
設備投資額	918	954	530	72	74	146	52	90	288	51	64	115	400
減価償却費	461	509	552	133	132	265	119	120	504	116	116	232	460
研究開発費	177	186	159	35	38	73	35	37	145	31	32	63	155
売上債権	2,076	1,953	1,577	1,411	1,575	1,575	1,639	1,676	1,676	1,821	1,867	1,867	—
棚卸資産	1,902	2,148	1,799	1,835	1,671	1,671	1,691	1,701	1,701	1,906	2,057	2,057	—
有利子負債	1,608	2,021	1,876	2,151	2,126	2,126	1,814	1,953	1,953	1,999	2,024	2,024	1,633
フリー・キャッシュ・フロー	△360	△297	495	49	17	66	120	362	548	△99	△14	△113	90
ROIC*2	5.8%	5.3%	1.7%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9%
ROE*3	7.7%	5.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5%
ROA*4	4.0%	2.9%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3%
CCC*5(日)	82.7	90.7	87.1	—	—	117.0	—	—	89.1	—	—	89.7	85.8
D/ELシオ(倍)	0.29	0.34	0.36	0.42	0.44	0.44	0.38	0.40	0.40	0.41	0.40	0.40	0.34
海外売上比率	56%	56%	54%	49%	57%	53%	56%	57%	55%	57%	57%	57%	56%
人員(人)	30,390	30,304	29,805	29,542	29,025	29,025	28,730	28,620	28,620	28,278	27,911	27,911	27,750
基本的1株当たり 当期(四半期)利益(円)	98.72	73.37	△88.05	△7.81	△69.86	△77.67	△1.19	△20.04	△98.90	7.01	19.36	26.37	28.07
1株当たり配当金(円)	26.0	34.0	26.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
1株当たり 親会社株主持分(円)	1,316.1	1,375.2	1,216.9	1,195.1	1,119.9	1,119.9	1,117.6	1,145.3	1,145.3	1,152.8	1,173.1	1,173.1	1,112.4

*1 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

*2 [2017年度まで] ROIC(投下資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均親会社株主持分)

[2018年度より] ROIC(投下資本利益率) = (調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益) ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本)

*3 ROE(親会社株主持分当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均親会社株主持分 × 100

*4 ROA(資産合計当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均資産合計 × 100

*5 CCC(運転資金手持日数) = 運転資金 [売上債権 + 棚卸資産 - 買入債務] ÷ 1日平均売上収益

主要製品 重量動向

2020年度1Qを100とした場合の指数

製品	2019年度				2020年度				2021年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
特殊鋼製品	工具鋼	151	156	153	128	100	101	103	130	150	160
	CVTベルト材	151	133	146	159	100	129	126	131	166	156
	ピストンリング材	227	199	229	214	100	105	253	260	261	253
	有機EL関連部材	56	72	103	73	100	100	136	85	114	129
素形材製品	鋳鉄製品 [Waupaca社]	225	203	174	196	100	183	178	197	188	180
	鋳鉄製品 [その他]	233	214	219	201	100	171	197	197	202	180
	耐熱鋳造部品 ハーキュナイト [®]	141	174	165	169	100	156	199	193	184	178
磁性材料 ・ パワー エレクトロニクス	希土類磁石	152	144	136	130	100	120	133	134	147	133
	フェライト磁石	164	161	161	165	100	127	166	172	167	147
	アモルファス金属材料 Metglas [®]	198	166	154	124	100	125	150	153	144	148
電線材料	電装部品*	198	191	187	164	100	166	204	198	179	173

* 電装部品は、簡易的な方法により集計した売上収益(為替影響を除外した金額)の指数

(参考) マーケット分野別事業構造(2020年10月～)

■ 事業ポートフォリオ

事業本部	事業セグメント	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
金属材料	特殊鋼製品	タービンケース 工具鋼	特殊鋼 CVTベルト材	クラッド材 リードフレーム材
	素形材製品	ロール 圧延用ロール	自動車鋳物 鋳鉄製品 耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]	配管機器 管継手 ガス用ポリエチレン配管システム
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	ネオジウム磁石 [NEOMAX®]	磁性材料 アモルファス金属 [Metglas®]	フェライト磁石 [NMF®] 窒化ケイ素基板
	電線材料	鉄道車両用電線 FA・ロボット用ケーブル	電線 自動車部品 電動パーキングブレーキ用ハーネス	

(参考) 日立金属の事業構造(2020年10月～)

■ 日立金属の事業構造

事業本部	事業セグメント	事業部門	主要製品
金属材料	特殊鋼製品	特殊鋼	工具鋼、自動車関連材料、剃刃材および刃物材、精密鋳造品、航空機・エネルギー関連材料、ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料、電池用材料
		ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	素形材製品	自動車鋳物	ダクタイル鋳鉄製品[HNM [®]]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト [®]]、アルミニウム部品
		配管機器	設備配管機器(∪ [®] 印各種管継手・各種バルブ、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	磁性材料	希土類磁石[NEOMAX [®]]、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品
		パワーエレクトロニクス	軟磁性材料(アモルファス金属材料[Metglas [®]]、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット [®]]、ソフトフェライト)およびその応用品、セラミックス製品
	電線材料	電線	産業用電線、機器用電線、電機材料、ケーブル加工品
		自動車部品	自動車用電装部品、ブレーキホース

当社の業績は事業セグメント区分により開示しております。

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

- 製品需要及び市場環境等に係るリスク
- 競争優位性及び新技術・新製品の開発・事業化に係るリスク
- 原材料等の調達に係るリスク
- 為替レートの変動に係るリスク
- 海外への事業展開に係るリスク
- 有形固定資産やのれん等の固定資産の減損損失に係るリスク
- 製品の品質に係るリスク
- M&Aに係るリスク
- 資金調達に係るリスク
- 親会社との関係に係るリスク
- 情報セキュリティに係るリスク
- 環境規制等に係るリスク
- 事業再編等に係るリスク
- 知的所有権に係るリスク
- 人材確保に係るリスク
- 法令・公的規制に係るリスク
- 地震、その他自然災害等に係るリスク
- 退職給付債務に係るリスク